

各都道府県教育委員会
各政令指定都市教育委員会 御中

文部科学省初等中等教育局
参事官（デジタル学習基盤担当）

令和8年度 GIGA StuDX 推進チームによる伴走支援の実施について

日頃より GIGA スクール構想の実現に向け、御理解、御協力を賜りありがとうございます。

文部科学省 GIGA StuDX 推進チームにおいては、全国各地から配置された教師がチームとなり教育委員会や学校現場の悩みや課題などに応じた研修等の伴走支援を行っています。その取組の一環として、オンラインによる公開学習会及び研修実施の支援を下記の通り御連絡します。

つきましては、各都道府県教育委員会 GIGA スクール構想担当課におかれては、所管の学校及び域内の市（指定都市を除く。以下同じ。）区町村教育委員会に対し、周知いただくようお願いいたします。また、特に市区町村教育委員会に対しては、所管の学校に対しても周知するよう、御伝達をお願いします。

記

1. オンライン公開学習会
 - ・実施期間： 令和8年6月下旬～令和9年2月末（予定）
 - ・研修テーマ、実施日時、申込については別添1・2をご参照ください。
2. チーム特設 Web サイト「StuDX Style」及びチームが運営する「GIGA StuDX メールマガジン」による情報発信
 - ・StuDX Style URL: <https://www.mext.go.jp/studxstyle/index.html>
 - ・メルマガ登録は別添4をご参照ください。

送付資料

- 別添1 令和8年度 GIGA StuDX 推進チームによるオンライン公開学習会
別添2 第1回オンライン公開学習会（6月）チラシ
別添3 （参考）令和7年度 GIGA StuDX 推進チームによるオンライン公開学習会資料
別添4 （参考）「StuDX Style」及び「GIGA StuDX メールマガジン」チラシ

（本件連絡先）

文部科学省初等中等教育局

GIGA StuDX 推進チーム

担当：岸、宗方、中筋

電話：03-6734-4989（直通）

E-mail：gigastudx@mext.go.jp

令和8年度 GIGA StuDX 推進チームによるオンライン公開学習会

1 目的

全国の教職員等を対象に、1人1台端末とデジタル学習基盤の効果的な活用の一層の促進に向けて、「学校DX戦略アドバイザー事業」事務局と連携し学習会を実施する。

2 主催 文部科学省 初等中等教育局 GIGA StuDX 推進チーム（以下、ギガスタという。）

3 実施期間 令和8年6月下旬～令和9年2月末（予定）

4 実施内容

テーマに沿ってオンライン公開学習会（名称：「プチ学習会」）を実施します。

・実施する学習会の種類

(1) 視聴型：ギガスタメンバーが、テーマの内容を解説や全国の事例等を紹介しします。（1テーマ15分程度）

(2) 操作体験型：参加者は、自身の端末を操作しながら学習会に参加します。

(3) その他：文部科学省関係者や学校DX戦略アドバイザー等が担当します。

※ (1)の視聴型学習会は、1回の実施日に2つの異なるテーマで学習会を実施し、同じ内容で別日に2回目を行います。（別添2をご参照ください。）

【第1回プチ学習会】

第1回プチ学習会（視聴型）では、4つの異なるテーマで実施します。

① タイピング指導

デジタル学習基盤を使って学ぶ基礎となるタイピングの力の育成の事例等を紹介しします。（令和7年度第4回の学習会内容を更新して実施）

・1回目：6月18日（木）15：50～16：05

・2回目：6月19日（金）15：50～16：05

② 【授業編】クラウド活用の工夫

授業でクラウドを活用している教師の思いや改善についてのインタビューから、活用の意図や工夫、改善効果を紹介しします。（令和7年度第4回の学習会内容を更新して実施）

・1回目：6月18日（木）16：15～16：30

・2回目：6月19日（金）16：15～16：30

③ 校務DXチェックリスト

校務DXを進める上で、学校や教育委員会は何から始めるのがよいのか、校務DXチェックリストを解説し、実践事例等を紹介しします。（令和7年度第1回の学習会内容を更新して実施）

・1回目：6月22日（月）15：50～16：05

・2回目：6月24日（水）15：50～16：05

（参考資料）

「GIGAスクール構想の下での校務DXチェックリスト」

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/detail/mext_00085.html

④ 【校務編】クラウド活用の工夫

校務でクラウドを活用している教師の思いや改善についてのインタビューから、校務DXの実態や工夫、改善効果を紹介します。(令和7年度第4回の学習会内容を更新して実施)

- ・ 1回目：6月22日(月) 16:15~16:30
- ・ 2回目：6月24日(水) 16:15~16:30

5 実施方法等

オンラインによる開催 (Zoom ウェビナーを予定)

※アーカイブ配信は行いません。

6 申込方法

次のアンケートフォームから、学校名(例：□□市立△△学校等)もしくは教育委員会名(例：□□市教育委員会△△課等)でお申込みください。個人でも団体でもお申込みいただけます。おひとりでの参加の場合も、所属名でのお申込みをお願いします。

※学習会準備等の参考にしますので、必ず参加のお申込みをお願いします。

※当日参加が難しくなった場合でも、欠席の連絡は不要です。

- ・ 申込 URL : <https://forms.cloud.microsoft/r/W1ZwD0yca6>
- ・ 第1回学習会 (Zoom) URL : <https://mext-go-jp.zoom.us/j/97357526547>
ミーティング ID: 973 5752 6547 パスコード: 693791

申込み



学習会



7 その他

- (1) 入室は約15分前から可能です。
- (2) 入室時の名前表示は『所属名』で設定してください。例：『(〇〇市立△△学校)』
- (3) 学習会中の録画・録音・撮影等のご遠慮ください。
- (4) 次回の学習会は、StuDX Style 及びメールマガジン(別添4を参照)等で案内します。

<本件担当>

文部科学省 初等中等教育局 参事官(デジタル学習基盤担当) 付情報教育振興室
情報教育推進第一係(荒川、塩川)

<本件担当・問い合わせ先>

文部科学省 初等中等教育局 GIGA StuDX 推進チーム
担当：岸、宗方、中筋
電話：03-6734-4989(直通)
E-mail：gigastudx@mext.go.jp

令和8年度 GIGA StuDX推進チーム 開催

第1回 プチ学習会

令和7年度から
通算5回目!



オンライン

対象者 教員 **小** **中** **高** 特支、管理職、事務、教委

1回1テーマ(15分)からの参加も可能です!

参加申込みはコチラ



準備等の参考にしますので、必ず申込みをお願いします。
※当日参加が難しくなった場合でも、欠席の連絡は不要。
<https://forms.cloud.microsoft/r/W1ZwD0yca6>

当日ウェビナー情報 (Zoom)



URL - <https://mext-go-jp.zoom.us/j/97357526547>
ミーティングID - 973 5752 6547
パスコード ----- 693791
※入室は約15分前から行えます。
※入室時の名前表示は「所属名」で設定してください。
(「〇〇市立△△学校」など)

ラインナップ

※1回目(①)と2回目(②)は同じ内容で実施します。

A 1回目 6/18 (木) 15:50-16:05 (15分)
2回目 6/19 (金) 15:50-16:05 (15分)

知りたい! タイピング指導

子供が自分の考えを表現する基盤となる「タイピングスキル」の向上について、情報活用能力における位置づけや現状のデータを踏まえながら、学校全体で指導する取組や、学習活動でのタイピング活用効果を紹介。

※令和7年度第4回の実施内容を一部更新してお届けします。

B 1回目 6/18 (木) 16:15-16:30 (15分)
2回目 6/19 (金) 16:15-16:30 (15分)

【授業編】先生に聞いてみた! クラウド活用の工夫

授業でクラウドを活用している教師の思いや改善の軌跡をインタビューし、「なぜこの形式にたどり着いたのか」「子供の学びにどんな変化があったか」といった活用の意図や工夫、改善効果を紹介。

※令和7年度第4回の実施内容を一部更新してお届けします。

C 1回目 6/22 (月) 15:50-16:05 (15分)
2回目 6/24 (水) 15:50-16:05 (15分)

知りたい! 校務DXチェックリスト

校務DXを推進するうえで、学校や教育委員会は何から始めるのがよいのか、「校務DXチェックリスト」や「校務DXの取組に関するダッシュボード」などをもとに解説。

D 1回目 6/22 (月) 16:15-16:30 (15分)
2回目 6/24 (水) 16:15-16:30 (15分)

【校務編】先生に聞いてみた! クラウド活用の工夫

校務でクラウドを活用している教師に思いや改善の軌跡をインタビューし、情報共有の効率化、各種資料のクラウド化、校務フロー改善などの取組から、校務DX推進の実態や工夫、改善効果を紹介。

※令和7年度第4回の実施内容を一部更新してお届けします。

6月

月	火	水	木	金
15	16	17	18	19
			15:50-16:05 A タイピング指導(①)	15:50-16:05 A タイピング指導(②)
			16:15-16:30 B 授業編クラウド活用(①)	16:15-16:30 B 授業編クラウド活用(②)
22	23	24	25	26
15:50-16:05 C 校務DXチェックリスト(①)		15:50-16:05 C 校務DXチェックリスト(②)		
16:15-16:30 D 校務編クラウド活用(①)		16:15-16:30 D 校務編クラウド活用(②)		

デジタル学習基盤の
活用事例等を
随時お知らせ💡

特設Webサイト
「StuDX Style」

<https://www.mext.go.jp/studxstyle/>



ギガスタ
メルマガ配信中

<https://www.mext.go.jp/magazine/index.htm#005>



第2回(特別企画)

要なの? 端末を活用

ICTは「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実に不可欠なツールであり、子どもたちは文房具のように使いこなしている。一方、教職員の業務では…

依然として、多くの校務がアナログ・紙ベースで行われている。

多くの自治体ではシステムを自前サーバに構築し、閉域網で稼働させている。校務用端末も職員室に固定されていることが多く、ネットワーク環境として時代の流れに合っていない。

『ICTは長時間勤務を解消して、学校の働き方改革を実現する上で極めて大きな役割を果たすもの』

『令和の日本型学校教育(答申)』において「ICTの活用に関する基本的な考え方を」記載。GIGA 校務DX何から始める?【教育委員会編】

学校規模別の当面の推奨帯域	当面の推奨帯域(Mbps)
児童生徒数	
~60人	161~216
61人~120人	161~216
121人~180人	270~323
181人~245人	377~395
246人~315人	408~422
316人~385人	437~453
386人~455人	468~482
456人~560人	496~525
561人~700人	538~580
701人~840人	594~633

知りたい! 学校のネットワーク

初等中等教育段階における生成AIの活用に関するガイドライン(Ver.2.0)

教職員や教育委員会等の学校教育現場を主たる読者として、学校現場における生成AIの適切な活用を実現するための参考資料となるよう、生成AIの活用に関する基本的な考え方を、場面や主体に応じて整理したガイドラインをまとめた。令和6年7月に第1版(Ver.1.0)を公表し、令和6年12月に本ガイドライン(Ver.2.0)へ改訂した。

ガイドラインの構成

- ① 目的(本ガイドラインの位置づけ及び構成)
- ② 生成AIについて
- ③ 活用推進の考え方
- ④ 学校現場において押さえておくべきポイント
- ⑤ ガイドラインの参考資料

学校現場における生成AIの活用

なぜ校務DXなのか

『ICTは長時間勤務を解消して、学校の働き方改革を実現する上で極めて大きな役割を果たすもの』

『令和の日本型学校教育(答申)』において「ICTの活用に関する基本的な考え方を」記載。GIGA 校務DX何から始める?【教育委員会編】

聞こえの困難さに応じて音声を文字化

【活用したICT機器、ソフトや機能等】

1人1台端末、文字認識ソフト、大型ディスプレイ、ウェアラブルマイク、ミラリングできる無線接続機器を活用、学習活動を展開している。

1人1台端末等と音声と文字化するソフトや機能を組み合わせて、聞こえの困難さに応じて、支援機器等を活用、学習活動を展開している。

○即時的な情報提供としての活用

AIが専用のマイクを装着し、話し言葉を1人1台端末等で文字変換させ、それを大型ディスプレイに英語で表示している。

表示されたテキストを読む学習活動は、既習事項を活用して、その内容を理解することにちなむことから、生徒の主体的な活動や外国語学習に対する意欲の向上に寄与している。

特別支援教育での端末活用

第4回

令和7年度 GIGA StuDX推進チーム開催
第4回プチ学習会

【研修パッケージ】

提案! 深い学びに向かう
授業づくり

2026年2月27日 金
16:15-16:30



「深い学び」に関する解説動画を活用し、デジタル学習基盤を効果的に活用することで、全ての生徒たちが深い学びに向かう授業を考える「授業改善研修パッケージ」を提案します。

- ※ 研修パッケージで活用する動画は、田村学主任視学官による解説のアーカイブ動画です。
- ※ 解説動画及び資料(様式)は、後日特設サイト「StuDX Style」に掲載を予定しています。

- このセミナーではこんなことが学べます
- ▶ 『デジタル学習基盤を効果的に活用し、生徒たちが深い学びに向かう授業』を考えるワークショップ型研修を実施する際の、具体的な流れ
 - ▶ ワークショップ型研修で使用できる解説動画・ワークシートの紹介



※解説動画(上)とワークシート(右)のイメージ



アーカイブ動画、第2回特別企画、第4回の2コマは絶賛公開中!



アーカイブ動画はこちら↑
(プチ学習会Webページ)

第4回(緊急開催)

令和8年3月16日(月)
GIGA StuDX推進チーム プチ学習会

SNS上における暴力行為等の 動画の投稿・拡散事案を受けて

動画教材の活用のポイント

オンライン公開学習会（プチ学習会）実績

別添3(参考)

全国の教職員等を対象に、デジタル学習基盤の効果的な活用の一層の促進に向けたオンライン学習会

第1～4回の学習会

実績

① 計 **59回** 実施

【視聴型】各回15分程度

タイピング指導、クラウド×授業改善、校務DX
生成AIガイドライン、情報モラル、学校ネットワーク
特別支援教育×端末活用 ほか

【操作体験型】各回40分

欠席連絡、小テスト、保護者提出書類デジタル化
※校務DXチェックリストより、働き方の改善に対する効果実感の高い項目より選択
アクセシビリティ機能、資料の共同編集 ほか



プチ学習会配信の様子

全国の自治体、小中高等学校等から

実績

② 計 **4万1千名** 以上の申込

※第1～4回の総申込者数

参加者の6割がピーター、4割が新規参加者

実績

③ 満足度 **97%** 以上

※第1～4回の満足度平均



校内研修の一環として職員室内で視聴している様子



小学校教諭

本校に在籍する児童の顔を思い浮かべながら実践を聞く
ことができよかったです。



中学校教諭

共同編集の良さを実感することができる内容でした。
プチ学習会は、無理なく負担なく参加することができるので、他の研修に比べ申し込みやすく、参加もしやすいです。



小学校教諭

オンライン集会などを学校で行うため、初めて参加しました。
「操作体験型」を受講してとても分かりやすかったです。



指導主事

文部科学省の本気度が伝わってきます。
大満足の学習会です。



特設ウェブサイト

スタディーエクス

スタイル

StuDX Style のココがおすすめ

全国の教育関係者のための

役立つ情報がいっぱい!

#GIGA×深い学び(実践・指導の例) #プチ学習会
#研修実施支援 #学習場面での1人1台端末活用



180万回以上※
閲覧されています

スタディーエクス スタイル

StuDX Style

デジタル学習基盤で加速する深い学び

- メルマガ新規登録
- TOPICS (改訂関係他)
- 校務DX
- 2 プチ学習会はコチラ
- お困り相談はコチラ
- 3 研修支援はコチラ

1. 各教科等における
深い学びの実践

4

小学校



- 中学校
- 高等学校
- 特別支援教育

令和8年3月時点のレイアウト

の例も掲載しています



※令和5年1月～令和8年3月までのPVを集計

ブックマークがおすすめ

「StuDX Style」は、デジタル学習基盤を効果的に活用して「主体的・対話的で深い学び」や「校務DX」の実現に向けて、全国の学校や自治体等の実践の事例や様々な記事を紹介しています。

その1 ポータルサイトとして

学びに役立つウェブサイトへのバナーを多数掲載。
ここからさまざまな情報にアクセス可!



その2 プチ学習会

デジタル学習基盤を効果的に活用した授業改善
や校務DXに関する事例をオンライン公開学習会
で紹介。操作体験研修も好評実施中!

その3 研修実施支援

学校や自治体等から依頼を受けて、GIGA
StuDX推進チームが研修実施を支援!
※全国の実践事例の紹介、情報提供等

その4 GIGA×深い学び

デジタル学習基盤を前提に子供たちを深い学びに
誘う授業の実践・学習指導の例を紹介!



StuDX Style & ギガスタメルマガ

別添4(参考)

特設Webサイト 「StuDX Style」

デジタル学習基盤の活用に関する事例を多数掲載！



StuDX Style :
<https://www.mext.go.jp/studxstyle/>

GIGA StuDX メールマガジン

月2回 配信！



1分で登録！



GIGA StuDX推進チーム
から
最新情報
をお届け！

メルマガ登録 :
<https://www.mext.go.jp/magazine/index.htm#005>